



### 新居浜市 日本最大級 別子銅山の産業遺産

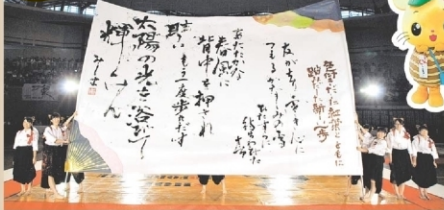


【人口】 11万9250人 【市の由来】 新居浜市は、2003年4月に別子山村と合併し、現在の形になりました。

県内20市町のナンバーワン、オンリーワンをピントが訪ね歩く「ピントの一番ハンター」。2回目は東予編です。東予は化学や製紙、造船、タオルなどの工場が立ち並び県内有数の工業地域。最近はお瀬戸内しまなみ海道のサイクリングにも注目が集まっているね。でも5市町の「一番」はそれだけじゃないよ。みんなどだけ知っているかな？ (今回は8月、南予北部編を掲載します)



### 四国中央市 日本初 書道パフォーマンス甲子園



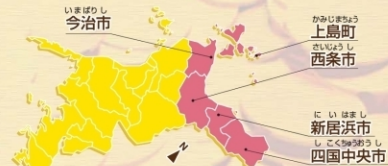
【人口】 8万8090人 【市の由来】 2004年4月、川之江市、伊予三島市、土居町、新宮村が合併して四国中央市が生まれました。名前の通り四国の中央に位置しています。



### 今治市 日本でただ一つの水軍博物館



【人口】 16万291人 【市の由来】 2005年1月、県内で最も多い12市町村が合併し、新「今治市」になりました。



### 上島町 ヒラメの稚魚 生産量日本一



【人口】 7230人 【町の由来】 2004年10月、弓削町、岩城村、生名村、魚島村が合併し、上島町になりました。離島のみで合併したのは、県内では上島町だけです。

「青いモンの島」として知られる上島町の岩城島には、皆さんの食卓を支える業があります。「まる阿水産」は、養殖に使うヒラメの稚魚の生産量が日本一。国内全体の3割を超す年間150万匹を、全国に出荷しています。卵から約3カ月間を育てます。出荷できるのは大きさが病弱など、厳しい審査をクリアしたもののだけ。魚のDNAも調べ、健康でよく育つ稚魚を目指しています。



### 西条市 四国でただ一つの鉄道展示施設



【人口】 10万9796人 【市の由来】 2004年11月、西条、東予の2市と鈴鹿、小松の2町が合併し、現在の西条市が誕生しました。

JR伊予西条駅のそばにある「四国鉄道文化館」は四国でただ一つの鉄道展示施設です。初代新幹線「O系」と「E1系」の機関車「DF50-1」号機の実車に付いた車内を展示しており、中に入って運転席に座ることができます。近い距離で本物を見て触って、迫力を感じられるところが自慢です。新幹線を日本に走らせた西条市出身の十河信二さんを知ってもおうと建てられました。子どもだけでなく、鉄道ファンの大人にも人気です。

(人口は愛媛県がまとめた5月1日現在の推計人口です)